

令和7年度 第5回総合計画審議会 会議記録

■開催概要

- 1 日時 令和7年12月19日（金）午後3時～午後3時50分
- 2 場所 第2委員会室
- 3 委員の出欠状況 19名中13名
- 4 事務局職員

深谷市長、小野企画経営部長、鈴木企画課長、阿部企画課課長補佐、新沼副主幹、近藤主査

■会長あいさつ

▽年末のお忙しい中、参集いただき感謝する。これまで審議を重ねてきたが、皆さんの経験と知識と知恵と行動が、この最終案に盛り込まれているか、また、その先を目指しているか確認していただいた上で答申をしたい。

■議事事項概要及び結果

会長により、以下のとおり議事進行

議事(1) 第六次多賀城市総合計画後期基本計画案について

事務局（企画課課長補佐）から、資料に基づき説明。

意見交換

▽54ページの施策6-1のグラフのように、あまり変化のないグラフの場合、縦軸の範囲を狭めて目盛りを調整して、数値の変化を際立たせてはいかがか。（会長）

→（企画課課長補佐）そのように対応を検討する。

議事(2) 第六次多賀城市総合計画後期基本計画答申について

会長から、これまでの審議会における意見と委員からの提出意見をもとに、資料2のとおり答申案を作成した旨説明した。

内容については、事務局（企画課課長補佐）から、資料に基づき説明。

意見交換

▽政策6に記載されている「共創」の意味はどういったものか。（委員）

→（企画経営部長）市民と行政みんなで創るということ。市民には法人としての事業者も含まれる。子どもから高齢者、障害を持つ方、持たない方、みんなでまちづくりに関わっていただくという意味合いで使われている。

→（会長）市民同士で創り上げるという意味も入っている。

■答申

市長が入室し、会長による答申の読み上げを行い、市長へ答申書の受け渡し。

審議会委員の所感

各委員から、審議会を通しての所感を一言ずついただいた。

▽それぞれの委員の想いが織り込まれた計画となり、感謝したい。（委員）

▽自分の出した意見も盛り込まれていると感じた。審議会を通して各委員の意見を聞き、まちの魅力を再認識した。（委員）

▽各委員のいろいろな意見を聞き、学ぶことが多かった。これからのまちづくりを担う世代として

頑張っていきたい。(委員)

▽意見交換がとても勉強になり、自分としても今後に活かしていきたい。現在、市では学区の見直しなども検討されており、子どもたちの将来が少しでも明るくなるよう、地域として見守っていきたい。(委員)

▽様々な分野の状況や課題を伺えて勉強になった。それぞれの想いのこもった計画となったため、今後の市政にますます期待したい。(委員)

▽市民のほとんどは受け身で、集まる人はいつも一緒であるため、いかにみんなに参加してもらうか、市が中心となって検討して欲しい。(委員)

▽多賀城は復元された南門や文化センター、東北歴史博物館などがあり、恵まれた環境であるため、今後の楽しみである。(委員)

▽みんなの意見・要望を可能な限り計画に反映していただき、よくまとめていただいた。(委員)

▽多賀城の魅力や課題を深掘りできたと感じている。(委員)

▽世の中の変化が厳しくなり、地域コミュニティの維持が難しくなっているが、多賀城創建 1300 年で市として大きな動きがあり、これを境に新しいスタートを切ってほしい。(委員)

▽仕事柄、市場調査等をするところがあるが、審議会を通して生の声を聞いて勉強になった。総合計画の存在すら知らない人が多いため、周りにも周知したい。(委員)

▽前期計画の 5 年間で、様々な変化があったと実感した。南門の復元や多賀城創建 1300 年など、良い意味での変化の 5 年間だったと思う。今後にも期待したい。(委員)

▽仙台でも今後高齢化が進み、物価高騰の影響でマンションなどの価格も高止まりし、若い世代が周辺市町に拡散していく動きも見える。多賀城は、その受け皿となり得るし、東北学院大学の跡地の大規模開発もあるため、まちが若返る可能性がある。現状のコミュニティに課題はあるが、ネットワーク型のコミュニティづくりが重要であるため、多賀城モデルを創って欲しい。(会長)

■市長から挨拶

▽47 都道府県すべて訪れたことがあるが、他と比べることで改めて多賀城は素晴らしいところだと感じる。議会でのやり取りや市民の方々とのやり取りをしていると、多賀城しか見ていなくて、厳しい意見を頂戴することもあるが、しっかり情報を共有して、知ってもらうことが大事。

▽審議会委員の意見で気付かされることが多々あった。多賀城の発展のために、理解いただけるまちづくりを心掛け、市民の皆さんにもさらなる関わりを持ってもらいたい。

▽第六次多賀城市総合計画の将来都市像として掲げている「日々のよろこびふくらむまち 史都多賀城」にあるように、日々のよろこびが当たり前にあることは、とても難しく、ありがたいのだという感謝の気持ちを市民の皆さんと感じられるようなまちにしていきたい。

■事務局からの連絡

▽第 4 回審議会で報告した地方版総合戦略については、計画案を作成しだい、文書にて案内する。

▽最終案については、1 月に全員協議会において議員各位に説明し、その後、最終決定内容について、審議会委員に文書にて送付する。

以上